

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292700208		
法人名	社会福祉法人 アコモード		
事業所名	グループホーム アンダンテ		
所在地	千葉県我孫子市布佐1152-1		
自己評価作成日	平成28年1月5日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8
訪問調査日	平成28年1月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・法人の管理栄養士が献立をたてている。 ・午前、午後と入居者同士の交流を図るためレクリエーション運動レク・脳トレ・カラオケ・手芸等日々レクリエーションの充実を図っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホーム アンダンテ」は平屋建ての施設となっており、バリアフリー環境が整備され、入居者の安全面に配慮した施設となっている。ユニット間の扉を開放する事で施設内を周回でき、天候が悪い際の運動やユニット間の交流行事に使用しており、入居者の生活の活性化に繋がっている。定期的に地域行事・まちづくり協議会・他施設の行事に参加しており、積極的に外部との交流を図っている。母体法人が特別養護老人ホームを運営しており、災害時における市の福祉避難場所に指定される等、密な連携・地域の福祉ニーズへの貢献に努めている。
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所に掲示し、携帯用の理念が書かれているカードを職員に渡している。	法人理念・施設理念・基本方針・行動指針等を掲げており、事業所内に掲示していると共に、職員全員へ携帯用カードを配布し、周知を図っている。また、法人ホームページにも記載しており、外部への周知も図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の行事に積極的に参加している。	日頃から近隣住民とあいさつを交わす関係を築いていると共に、定期的に地域行事に参加しており、地域との交流を促進している。また、ボランティアの受け入れや法人の他施設との交流の機会を設けており、入居者の生活の活性化に繋げている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事に参加し、認知症の方を見ていただいています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2か月に1回定期的に開催しています。そこでの話し合いをサービスに生かしています。	運営推進会議を2か月に1回、開催しており、市職員・地域包括支援センター職員・民生委員・地域住民・他グループホームの管理者・入居者家族が出席している。議題に活動報告や意見の確認を挙げており、施設理解の促進を図ると共に、サービスの質の向上に繋げている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所担当者から月に1回利用者の入居の確認のため連絡が入る。 また連絡事項はメール等で連絡をとっています。	必要に応じて、市に対して報告・連絡を行い、連携を図っていると共に、地域のサービス事業者連絡協議会に参加し、市や他事業所との意見・情報交換を行う機会を設け、サービスの質の向上に繋げている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	各家庭と同じように夕方は玄関、窓のカギは閉めています	身体拘束排除・高齢者虐待防止等に係るマニュアルを整備していると共に、法人にて委員会を設置しており、適切なサービスの実現に向け取り組んでいる。また、定期的にチェックリストを使った振り返りを行う等、職員へ意義の周知を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事務所に虐待防止の資料を掲示し、毎日閲覧できるようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	事務所に日常生活自立支援事業や成年後見制度の資料を掲示し、毎日閲覧できるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居される前に説明し、納得されたうえで入居して頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が面会時に近況をお知らせし要望等を聞き反映しています。	家族の訪問時・電話連絡時等を活用して、直接意見・要望等を確認している。また、市の介護相談員の受け入れを行っており、様々な形で意見を収集する仕組みを構築している。挙げた意見・要望においては、申し送り・連絡帳・会議等を活用し、周知・検討の上、適切な改善に努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議を設け、利用者の検討会、業務の見直し等を話し合い運営に反映しています。	定期的に会議を開催しており、職員からの意見・提案を確認していると共に、議事録は全職員へ回覧しており、情報の共有を図っている。定期的に意向調査・面談等を実施しており、個別の意向・思いの把握に取り組んでいる。	研修記録や報告書の保管を現在、法人にて行っているが、今後は書類の必要性等を考慮し、適時確認が必要な書類に関しては、施設にて保管を行い、適切な情報の共有・情報の把握に繋げていただく事を推奨します。

【千葉県】グループホームアンダンテ

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員に研修等のお知らせし、希望者には研修に行けるよう配慮している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修紹介をし、参加するよう促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームの管理者を運営推進委員会に参加要請し、お互いにサービス向上のため話し合っている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時に問診を通して知りえた情報を生かし、信頼関係を築き上げています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時にいろいろお困りな事、不安等を聞き解決できるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居目的を家族より聞き取り、それを考慮した対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者も参加してもらい炊事・洗濯・掃除等、自分でできることをしてもらっています。		

【千葉県】グループホームアンダンテ

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	利用者、家族の意見を聞き、中立的立場で 相談・協力して支えていくようにしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、友人等の面会は自由に行ってい る。また買い物などご本人が行きたい所に 同行している。	家族・友人等との外出・外泊は自由となっていると 共に、必要に応じて、手紙のやり取り等を支援して おり、馴染みの関係継続に向けた支援を行っている。 また、個別の外出支援や他施設との交流機会 を設けており、馴染みの場での楽しみ・新たな馴染 みの関係構築を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せ ずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	レクリエーションを通して、午前、午後と利用 者同士が交流を図っています。トラブルの際 は職員が間に入り、良好な関係が維持でき るように配慮しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談時できる範囲での支援に努めたいと思 います		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	入居時の面接等で希望意向を聞き取ってい る。問題が発生した都度当日職員で話し合 い解決に当たる。連絡帳等にて決め事を職 員に周知している。	契約時の面談にて、本人・家族から意向・生活歴・ 身体状況の確認を行うと共に、医療機関や他事業 所からの情報提供を受けており、より詳細な情報 の把握に努めている。また、申し送り・連絡ノート・ 会議等を活用し、職員間で意見・情報交換を行っ ており、情報の共有及びその人らしい生活への支 援方法の検討を行っている。	

【千葉県】グループホームアンダンテ

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアマネージャーやご家族から情報を収集している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	連絡帳、ケース記録から情報を職員間共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者が作成した介護計画を定期的に見直しをしている	本人・家族の意向を基に、全職員で意見・情報交換を行い、介護計画を作成している。定期的に目標の達成状況の確認及び評価を行っており、必要に応じて介護計画を見直している。介護計画の変更点・医師の指示書等の周知徹底を図っており、適切な支援に向けた体制を構築している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録に1日の様子を記載し共有している。特別変わったことや、重要事項は連絡帳にて早期周知できるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	晩酌のおつまみを作るために買い物に同行しています。 また下肢筋力低下予防のため近所を散歩する方に同行しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアを受け入れています。 また近隣のイベントに参加しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診する医療機関はご本人家族の希望でそれぞれ慣れた医療機関に行かれる方もおり、ご家族が受診に行けない方にはかかりつけ医に月2回、歯科医に周1回、往診に来て頂き健康管理をしています。	希望の医療機関への受診及び内科医・歯科医の往診を実施しており、適切な受診支援に努めている。また、定期的に法人の看護師が来訪し、健康管理・健康面における助言等も行われている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週5回1時間程度来て頂き、健康状態で気づいた点を報告し、また医療面での心配事の相談にのってもらっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時病院に行くか、または電話、文面等で情報提供を提供を行い、ソーシャルワーカー等と情報交換し、早期退院ができるように努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族と事業所でできる事と、出来ないことを十分に説明し、理解していただき方針を共有し支援している。	重度化・終末期に関するマニュアル整備を行っており、対応方法や意義の周知を図っている。希望時・必要時には本人・家族の意向を把握すると共に、医療機関・家族・職員等と話し合いながら希望に沿った支援の実現に努めている。また、必要に応じて法人内でも連携を図り、適切な対応が図れるよう協力体制を整えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習を定期的に受講している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	施設内に緊急時の避難経路を掲示。職員が慌てず行動できるように訓練している。災害時の備蓄品も保管場所に設置。	スプリンクラー・自動通報器・火災報知器等の消防設備を設置していると共に、年2回の消防訓練及び設備点検を行っている。訓練では、夜間想定訓練・消火器訓練・災害想定訓練等を行っており、状況に応じた避難方法の確認を行っている。法人の特別養護老人ホームが市の福祉避難場所に指定されており、災害時の備蓄・市との連携を行っている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ひとりひとりの人格、生活を尊重しつつ、プライドを傷つけぬよう声かけを行っています。	職員の行動指針を配布していると共に、会議やマニュアルを活用して、職員に対し、意義を周知している。居室のカギは自由に使用する事ができる他、個別対応等を適時行い、その人らしい生活に向けた支援を実施している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	地域のイベントを掲示し、自己決定により行きたい方のみお連れしている。 お茶の時間もご自分で何が飲みたいか選択してもらい提供している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	決められた食事時間やおやつがあるが時間をずらして提供しています。また入浴も決められて曜日で提供していますが、外出、体調不良、気分がのらない時は振り替えて入浴を提供している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員と衣類の買い物に出かけたり、家族に衣類の交換を依頼し家族間の交流を持てるようにしている。利用があれば随時、訪問理容師を施設に来てもらいカットから毛染めまで行っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備ができる方、かたづけができる方と一緒にしている。	希望に応じて、食事の準備から片付けを入居者と共同で行っている。献立の作成は法人の管理栄養士が行っており、栄養バランスに配慮した食事提供を行っている。定期的に行事食の提供や手作りおやつを実施し、食に対する楽しみを支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人の管理栄養士が立てたメニューで調理している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを促している。 口腔のトラブルがあった時は定時訪問歯科診療を利用し、早期に手当しています。		

【千葉県】グループホームアンダンテ

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	車いす利用者でも立位可能な方はトイレで排泄してもらっています。夜間トイレに間に合わず失禁されて不安な方には部屋に夜間のみポータブルトイレを設置し紙オムツ使用を使用しないようしている	排泄チェックリストを活用しながら個々の排泄パターンを把握しており、声掛けやトイレ誘導にて、排泄の自立に向けた支援を行っている。また、夜間においてはポータブルトイレの活用・トイレ誘導等、適切な支援を行っている。必要時には、医師・看護師に相談しながら適切な排便コントロールを行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、10時のおやつ時にカスピ海ヨーグルトを提供し、おやつ後、ラジオ体操、歌体操、ロコモ予防体操を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	日時は決めているが臨機応変に入浴してもらっています。また、入浴剤を何種類か用意し、色の	入居者の体調・希望に応じて、柔軟に対応しながら適切な入浴機会の確保を行っていると共に、必要に応じて、清拭・シャワー浴・部分浴を実施しており、入居者の清潔保持に努めている。また、入浴剤等を活用しながら楽しく入浴できる工夫も行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日夜逆転している方もいますが日中に運動レク・脳トレ参加してもらえよう促すも眠い時はご本人のペースで過ごしてもらっています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに薬の内容を綴じて職員が閲覧できるようにしてあります。変更時もわかるように書面で提示しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	自分でできる事はして頂いています。(自分の部屋掃除)外部からのヤクルト購入・新聞購入等自由にして頂いています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ドライブ、買い物、法人のイベント、地域のイベントを掲示ご自分で選んでもらい参加希望者はお連れしている。	日頃から散歩・買物・ドライブ等を実施しており、戸外に出る機会を設けている。また、地域行事や他施設等への外出行事を企画・実施しており、施設外での楽しみを支援している。また、天候が悪い時でも施設内を1周できる設計となっており、体を動かす機会が作れるよう工夫されている。	

【千葉県】グループホームアンダンテ

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭トラブルの無い方には自己管理してもらっています。他は小口現金を管理者が管理しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人からの申し出に対応しています。 友人・家族への手紙を書いているかたの支援もしています。電話でご家族と話したいとの希望があればおかけしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室前に季節の造花を設置しています。 また、季節感がわかるように壁飾りを一緒に作り飾り楽しんでいます。	施設は平屋建ての施設となっており、バリアフリー環境が整備され、安全面に配慮した設計となっている。今日スペースには、テーブル・椅子・ソファ等を設置しており、自由にくつろげるよう配慮していると共に、駐車場等の敷地内を活用して、お茶飲みや外気浴が楽しめるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲が良い方同士でご自分たちの部屋で話しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人、家族と相談しながら、また衛生面・安全面重視し家具の配置をしています。	入居時に本人・家族の希望に応じて、馴染みの家具等を持ち込むことが可能となっており、居心地よく生活できるよう配慮していると共に、布団での生活・ポータブルトイレ・テレビ等の設置も可能となっており、生活歴に配慮した居室作りを行っている。また、収納スペース・鍵が設置されており、個々のプライバシーに配慮した設計となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ここに合わせ、居室の前に名前を大きくわかりやすく表示しています。		